

令和6年度使用 小学校教科用図書調査研究結果

# 社 会

令和5年8月23日（水）

伊予市教科用図書調査委員会

【調査・研究資料】教科名（ 社会 ） No. 1

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
2 東京書籍	新しい社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示されている教科及び学年の目標・内容に沿った内容が適切に選択されている。</li> <li>○ 文字の大きさや資料の数を精選している。地図やグラフの種類、写真や言葉だけでは分かりにくい事象をイラスト化して分かりやすくしているなど、児童の発達段階に適している。</li> <li>○ 内容が児童の生活や経験から課題意識をもたせたり、学習したことが実生活へ戻ったりするように考えられている。</li> <li>○ 写真やグラフなどの資料が多い。行間を広めにとっている。フォントの大きさを本文、吹き出し、資料と分け、各学年に応じた文字量である。</li> <li>○ 第5学年は、「上、下」第6学年は、「政治・国際編、歴史編」の2冊構成となっており、登下校の児童の負担が少ない。 製本サイズは、A B判である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領の内容をもれなく扱い、目標を達成することができるように単元は系統的に構成・配列されている。巻頭には、昨年学んだことが載っており、前学年からの継続が意識されている。また、第6学年の巻末には、中学校で学ぶことが載っており、中学校への接続も意識されている。</li> <li>○ 第4学年の「きょう土の伝統文化と先人たち」の単元では、道後温泉や新居浜太鼓まつり、伊予万歳など、愛媛県のことが取り上げられており、児童が親しみやすい内容であるとともに、自分たちの県に誇りをもつことのできる内容となっている。</li> <li>○ 各単元は、「つかむ」「調べる」「まとめる」の流れで、系統的に構成されている。また、「いかす」で学びをもとに考える場面を設けたり、「ひろげる」という発展的な資料を提示したりしながら、児童の学びに向かう力を育もうとしている。</li> <li>○ 資料を使いながら問題設定や問題解決をしている構成。本文と資料の関連は適切で、情報量も適切な量であり、見やすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「まなび方コーナー」によって資料の見方や調べ方など見直しをもたせられるように考えられている。大切な言葉は「ことば」によって児童の目に触れるよう配慮されている。</li> <li>○ 単元最後には、その単元で適切なまとめ方が紹介されている。また、学習問題との整合性を確認できるよう工夫してあったり、まとめに生かすことができる言葉を一目で分かるように配慮したり、巻末には学習の振り返り方を掲載するなど、考え方や表現する力を養えるように配慮されている。</li> <li>○ 導入を大切にしており、「つかむ」場面で資料から気づいたことをもとに、学習問題を設定し、学習問題について予想する場面や学習計画を立てて見直しをもたせる場面も大切にしている。また、「まなびのポイント」やQRコードによって主体的に問題を解決しようとする態度を養うように配慮されている。</li> <li>○ どの資料も単元の内容にふさわしく利用しやすい。県内の文化財や年中行事を扱った単元は愛媛県の内容であり伊予市・松前町・砥部町の児童にとっても使いやすい。</li> </ul>	<p>学習指導要領に沿った学習内容が適切に選択・配置されている。精選された各資料は見やすく児童の発達の段階にあったものである。</p> <p>単元の流れや選択教材、発展的な教材の内容・配置などもしっかりしている。単元計画の立て方や、まとめ方、調べ方など様々な方法が示されており、分かりやすい。児童の意識の流れを大切にしたい課題発見、予想、調査、まとめという問題解決的な学習を進めることができ、社会科の基本的知識・技能・能力を身に付けさせることができる。</p> <p>第5学年は、「上、下」第6学年は、「政治・国際編、歴史編」の2冊構成となっており、登下校の児童の負担が少ない。</p> <p>第4学年の「4きょう土の伝統・文化と先人たち」で、愛媛県の伝統文化を扱っており、自分たちの県に誇りをもつことのできる内容となっている。</p> <p><u>総合的に判断し、採択するのに最も適している教科書であると考える。</u></p>

調査・研究資料】教科名（ 社会 ） No. 2

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
17 教育出版	小学 社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示されている教科及び学年の目標・内容に沿った内容が適切に選択されている。</li> <li>○ 文字の大きさや資料の数を精選している。地図やグラフの種類、写真や言葉だけでは分かりにくい事象をイラスト化して分かりやすくしているなど、児童の発達段階に適している。</li> <li>○ 内容が児童の生活や経験から課題意識をもたせたり、学習したことが実生活へ戻ったりするように考えられている。</li> <li>○ 写真やグラフなどの資料が多い。行間を広めにとっている。フォントの大きさを本文、吹き出し、資料と分け、各学年に応じた文字量である。 製本サイズは、A B判である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領の内容をもれなく扱い、目標を達成することができるように単元は系統的に構成・配列されている。</li> <li>○ 「つなげる」という発展的に考えさせる内容が配列されており、さらに広く、深く学習できるようになっている。</li> <li>△ 「次につなげよう」で学ぶ内容を示すことが、主体的な態度を育むことにつながるか疑問が残る。また、「つなげる」内容が設定されていない単元もある。学んだことを「まとめる」活動では、標語に表すだけのものもあり、その内容が該当学年にふさわしいかどうか疑問が残る。</li> <li>○ 資料を使いながら問題設定や問題解決をしている構成。本文と資料の関連は適切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大切な言葉は、「キーワード」として教科書の左右に配置され、児童の学びの助けとなっている。</li> <li>△ 児童には耳慣れない社会科用語が多い中で、その言葉についての説明が十分ではない。</li> <li>○ 「学びのてびき」があり、資料の見方や調べ方などに見通しを持たせることができる。</li> <li>○ どの単元でも導入を大切にしている。「つかむ」場面で、資料から気付いたことをもとに、学習問題を設定し、学習問題について予想したり、学習計画を立てて学習の見通しをもったりすることができるようにしており、主体的に問題を解決しようとする態度を養うように配慮されている。</li> <li>△ QRコードから主体的に資料を活用して問題解決しようとする態度を養うように配慮されているが、教科書の資料を画面上で見ることができるだけのものである。また、どの資料からどのように考えるべきか、選択・判断したことを表現する力を養えるよう配慮されているとは言いがたい。</li> <li>○ 写真や実生活を想起させるような資料が提示されている。選択・判断する場面では、グラフやイラスト、地図などの資料を使い、多角的に考えたり、総合的に捉えたりできるような資料の配置となっている。</li> </ul>	<p>学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切なものが選択されており、児童の発達の段階に適応している。</p> <p>課題発見、予想、調査、考察とまとめという問題解決的な学習過程を大切にしており、単元計画の立て方や、まとめ方、調べ方などについて様々な方法を示し、主体的な学習を進められるよう工夫されている。</p> <p>QRコードから読み取れる資料が、教科書の資料を画面上で見ることができるだけのものである。また、どの資料からどのように考えるべきか、選択・判断したことを表現する力を養えるよう配慮されているとは言いがたい。</p> <p><u>総合的に判断し、採択するのに適している教科書であると考える</u></p>

調査・研究資料】教科名（ 社会 ） No. 3

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
116 日本 文 教 出 版	小 学 社 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示されている教科及び学年の目標・内容に沿った内容が適切に選択されている。</li> <li>○ 地図やグラフの種類、写真や言葉だけでは分かりにくい事象をイラスト化して分かりやすくしているなど、児童の発達段階に適している。</li> <li>○ 内容が児童の生活や経験から課題意識をもたせたり、学習したことが実生活へ戻ったりするように考えられている。</li> <li>○ 写真やグラフなどの資料が多い。行間を広めにとっている。フォントの大きさを本文、吹き出し、資料と分けられている。製本サイズは、A B版である。</li> <li>△ 1 ページの情報量が多すぎ、精選する必要がある単元、学年もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領の内容をもれなく扱い、目標を達成することができるように単元は系統的に構成・配列されている。</li> <li>○ 学年の巻頭に「学習の進め方」や「教科書の使い方」が載っており、学習の参考になる。また、単元終末に自分たちができることを考えたり、学習問題に立ち返り、様々な表現方法でまとめたりする場面を設けている。学習したことを深め、生活に生かすことができるように配慮されている単元もある。</li> <li>○ 「考えよう！SDG s」のコーナーや「未来につなげる」を設け、学習内容とSDG sのつながりを考える単元もある。巻末に目標をシールが付いており、児童が意欲的にSDG sについて考えられるように工夫されている。</li> <li>△ しかし、初めて社会科を学習する3年生には難しい内容もある。</li> <li>△ 単元終末に「さらに考えたい問題」について話し合う場面を設けているが、自分ごととして考えたり、協働的に話し合ったりするための内容が難しく学年に応じていないものがある。また、「さらに考えたい問題」の表し方が児童にとって分かりにくい。</li> <li>○ どの資料を根拠に話しているのか資料番号を使いながら説明し、分かりやすく構成されており、本文と資料の関連は適切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 働かせるべき社会的な見方・考え方を示しており、社会的事象を適切に捉えられるように配慮している。</li> <li>△ 単元終末には、まとめ方が紹介されているが、それが本当にその学年で適切な内容かどうか疑問が残る。</li> <li>○ 児童が学習内容に興味をもったり、今後に生かしたりできるように配慮されている。</li> <li>△ しかし、情報量が多すぎ、精選する必要があると思われる単元もある。</li> <li>△ QRコードから主体的に問題を解決しようとする態度を養うように配慮されているが、どのような資料なのかの説明が紙面上にないため、調べてみようという気持ちになりにくい。</li> <li>○ 導入では、写真や実生活を想起させるような資料が使われている。選択・判断する場面ではグラフやイラスト、地図などの資料を使い、多角的に考えたり、総合的に捉えたりできるような資料の配置となっている。</li> </ul>	<p>学習指導要領に沿って学習内容が適切に選択・配置されている。</p> <p>各単元で働かせるべき社会的な見方・考え方を示しており、社会的事象を適切に捉えられるように配慮している。</p> <p>児童が主体的に問いを持ちたり課題を追求したりすることができるように、多様な資料を掲載したり、社会的事象をイラストで分かりやすく表現したりするなど工夫されている。</p> <p>1 ページの中の情報量が多すぎるため、抵抗感を感じる児童が出てくる。また、一つの精選された資料から多面的・多角的に様々な情報を読み取り自分の考えをもつ力もつきにくいと考える。</p> <p>QRコードから読み取る資料についての説明が紙面上にないため利用しにくい。</p>